

# ゼロクリーンP-01

消防法非該当

毒劇法非該当

有機則非該当

PRTR非該当

ハロゲン非含有

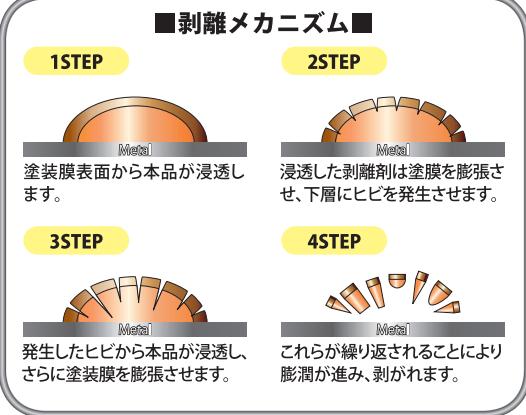
- 硬化した各種塗装膜(溶剤、カチオン電着等)を膨潤剥離可能です。
- アクリル、ウレタン、エポキシなどの各種樹脂膜や接着剤を剥離可能です。
- 膨潤剥離タイプのため、剥離した塗膜を除去することで繰り返し使用可能です。
- 揮発性溶剤に比べて液補充が圧倒的に少なく使用できます。

## 用 途

- アルミ上の各種樹脂膜、塗装膜、接着剤の剥離
- アルミ製の金型やマスクに付着した樹脂残渣、離型剤、インクの除去

## 剥 離 例

アルミ製製品(アクリルウレタン系塗料)40°C、30分間浸漬



## 使 用 上 の 注意

- 材質により変色や腐食があるので、用途及び使用方法以外では使用しない。
- 吸入飲用不可**・人体に害があるので、吸入したり飲んだりしない。●眼に入ると障害を生じる恐れがあるので、保護メガネを着用する。●皮膚を傷める恐れがあるので、保護手袋を必ず着用する。●取り扱い後はよく手を洗う。●本品は鉄に対して腐食性がある。●加温使用により水が蒸発すると、引火性が生じたり成分が析出したりすることがあるので、水や製品を補充して、適切な水分量を維持する。●消火の際は棒状注水は行わず、泡・二酸化炭素・粉末消火器等を使用する。●キャップを開けるときに液が飛び出す恐れがあるので注意する。●使用途中で容器を移動させる場合は、キャップをしっかりと閉め、液が漏れないことを確認する。

## 応 急 処 置

- 吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、すみやかに通気の良い所で安静にする。気分が回復しない場合は、本品持参の上、医師の診断を受ける。●飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、無理に吐き出させないで、本品持参の上、医師の診断を受ける。●眼に入った場合は、こすらずすぐに15分間以上流水でまぶたの裏まで洗い、本品持参の上、すみやかに医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用の場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗眼し続け、すみやかに医師の診断を受ける。●皮膚に付着した場合は、直ちに石けんで洗った後、大量の水で15分間以上洗い流す。異常がある場合は、医師の診断を受ける。(衣服にかかるしみ込んだ場合は直ちに脱衣し、同様の処置を行う。)●衣服にかかった場合は、シミになる恐れがあるので、すみやかに洗浄する。

## 保 管 及 び 廃 棄 方 法

- 子供の手の届く所には置かない。●保管時には必ず密封し、直射日光の当たる場所、凍結の恐れのある所、40°C以上になる所や水・湿気の多い場所には置かない。●横に倒して保管しない。●廃棄の際は、内容物や容器を、都道府県知事の許可をうけた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

※ここに明示された以外の詳細については当社発行のSDS(安全データシート)をご覧ください。

## 使 用 方 法

- ※作業をする際は保護メガネ、ゴム製手袋、ゴム製保護衣を必ず着用してください。
- ①【剥離工程】 剥離対象物を本品に浸漬してください。塗装膜の種類や状態にもよりますが、浸漬時間の目安は10~60分程度です。剥離が不十分な場合には、剥離状況を確認しながら浸漬時間を延長してください。必要に応じて高圧水やブラッシング等で塗装膜を除去してください。
  - ②【水リーン工程】 塗装膜の剥離後は十分に水リーンを行ってください。  
※リーン後の水は関連法規や自治体毎の条例に従い処理してください。
  - ③【乾燥工程】 必要に応じてエアーブロー等で対象物を乾燥してください。  
※対象物が金属の場合には錆の原因になりますので、十分に乾燥してください。

## 製 品 情 報



荷姿	20kg/ボトル
製品コード	2964
管理No.	UG08
JANコード	4979782029645

お問い合わせは